

橋渡し研究プログラム（大学発医療系スタートアップ支援プログラム） 医療系スタートアップ支援拠点

採択拠点

採択課題名：国際展開を目指した医療系スタートアップの育成拠点

代表機関名：国立大学法人 筑波大学

補助事業代表者名：つくば臨床医学研究開発機構 橋渡し研究推進センター
・副機構長・町野 毅



主な連携・協力機関：Stanford SPARK、UCSD、慶應義塾大学、九州大学、大阪大学、岡山大学、千葉大学 他アカデミア9機関、VC5社、その他民間事業者7社

全体概要

筑波大学は医療系スタートアップを育成するプラットフォーム「Research Studio」を構築し、国内外の大学と連携して運営している。過去6年間で39チームを支援し、24社が起業、23社が総額130億円の資金調達に成功。

本事業では、「Research Studio」を基盤とする人材育成プログラムに伴走支援プログラムを連携させ、拠点内外からのシーズを公募して、選抜・育成し、国際展開を目指した社会実装を推進する。国内外の各専門分野のトップリーダー50名以上がメンターとして協力しており、支援人材のFaculty Developmentも連携・協力機関に提供する。VCや事業会社とも連携体制を構築し、事業化を推進する。また、UCSDメンター陣と連携した伴走支援体制を新たに構築し、国際的な医療系スタートアップの支援を推進する。国際展開においては、西海岸での活動実績を活かし、東海岸への展開拡大も検討を進め、米国を中心とした国際展開の拡大を目指す。

